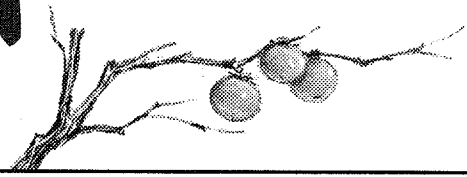


# 診断京都

No.83  
2006年 秋号

社団法人 中小企業診断協会京都支部



## 第4回(社)中小企業診断協会近畿ブロック

### 〈経営シンポジウム開催さる〉

(社)中小企業診断協会の近畿7支部(大阪、兵庫、和歌山、奈良、京都、滋賀、福井)は、毎年共同で経営シンポジウムを開催しています。第4回目の本年度は、10月20日(金)午後1時30分からラマダホテル大阪(大阪市北区)にて、「地域活性化と中小企業診断士の役割」をテーマに、基調講演とパネルディスカッションを実施しました。その後別室に移り、講師陣及び各府県からの多くの来賓を囲んで、7府県から参集した会員中小診断士による懇親会が催されました。

昨年までの経営支援発表会とは趣を変えた今年の経営シンポジウムは、基調講演にイオント大学(ハワイ)教授・経営学博士の小濱岱治氏を迎え、豊富な実務経験の上に構築された研究成果が披露されました。

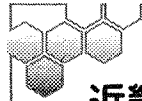
講演の中で小濱氏は、(1)地域の活性化には共有ビジョンの創造が前提となること、(2)地域の活性化にはコミュニティ機能の創造が不可欠であること、(3)地域の活性化は魅力ある企画の創造が推進母体であること、(4)地域の活性化には強

力なリーダーシップの創造がキーポイントであること、(5)地域の活性化は効率的な支援システムの存在が成否を決めること等を、国内外の事例をもとに示しました。

続くパネルディスカッションでは、小濱氏に加え京都の(株)最上インクス代表取締役の鈴木三郎氏、(財)ひょうご産業活性化センター産業企画部長の井上政廣氏をパネラーに、(社)中小企業診断協会大阪支部長の迫間俊治氏をコーディネーターとして、地域及び中小企業の活性化に関する熱のこもった論議が交わされました。

閉会の辞は、(社)中小企業診断協会京都支部長の玉垣勲氏が、来年度の開催は京都支部が担当することを力強く宣言して満場の拍手を浴びました。なお、今回の経営シンポジウムで京都からは、(財)京都産業21、(財)京都市中小企業支援センター、京都商工会議所、(株)京都試作センターからのご来賓のほか、玉垣勲京都支部長以下10名の支部役員及び会員に参加いただきました。





## 平成18年度 近畿ブロック事務連絡会開催

去る平成18年11月17日兵庫県民会館（神戸市）にて、今年度の近畿ブロック事務連絡会議が開催されました。（社）中小企業診断協会本部から米村紀幸会長と樺山俊一事業部長を迎え、近畿ブロック7府県の支部長等が一堂に会し協会本部からの事務連絡の後、率直な意見を交換しました。

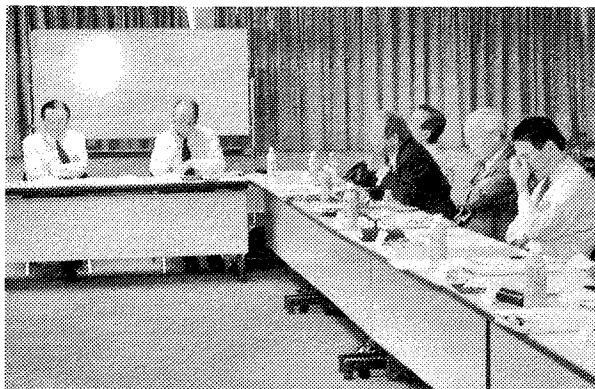
協会本部から、本部及び支部・会員の効率的な事務運営と会員サービスの機能向上、診断士資格管理業務等で新制度に対応した斬新な情報システムに再構築するプロジェクトが進んでいること、Webサイトについても本部と支部の連携を強化すること、新制度の診断実務従事事業についての最新状況の説明がありました。同時に、地域資源を活用した新事業活動の促進案として、「地域資源活用企業化プログラム」の概要にも言及がありました。

（URL:

[http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/chiki/061107chiikiiprogram\\_sousetu.htm](http://www.chusho.meti.go.jp/shogyo/chiki/061107chiikiiprogram_sousetu.htm)）

その後、7府県各支部からの報告に入りました。各支部とも積極的に幅広い活動展開を報告した中で、特に診断実務従事事業関係では、各府県支部のリソースを上手に活用するなどの工夫をした取り組み状況の報告が印象的で、むしろ京都支部の立ち遅れを感じるほどでした。

事務連絡会の後は、中小企業基盤整備機構近畿支部長や中小企業金融公庫・商工中金・国民生活金融公庫各神戸支店長、兵庫県信用保証協会理事長も加わり総勢25名で親交を深めるとともに、各機関と中小企業診断協会各支部との連携を強化する方向を確認しました。



（写真最左側が米村会長、その右が樺山部長）



## 平成18年度更新研修 （理論政策）を8月と10月に開催

中小企業診断協会京都支部主催の平成18年度更新研修会（理論政策）は、8月6日（日）及び10月7日（土）の2回に渡って共に、ばるるプラザ京都（JR京都駅前）にて行われました。



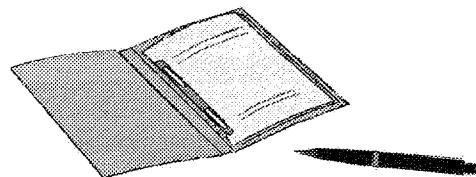
両日とも約100名の参加者で、会場はほぼ満席となりました。今年は他府県からの参加者も多数ありました。

8月6日（日）は、前半を京都府中小企業団体中央会から今嵐正三事務局長に「新しい中小企業の施策」というテーマで事例を中心に講演いただき、後半は支部理事の中川普巳重さんを講師に「第二創業のコンサルティング」という演題で講義していただきました。

10月7日（土）は、前半を京都商工会議所経営相談センターの坂口俊一所長に「新しい中小企業の施策」というテーマで事例を中心に講演いただき、後半は安田徹前京都支部長を講師に「診断助言のための新会社法」という演題で講義していただきました。

いずれも最新のホットな内容で、診断士としての必須の知識でもあり、参加者は熱心にメモをとって聴講していました。

第2回目の最後には、成岡副支部長から「新診断士制度対応」に関する「実務従事事業」の進捗状況が報告されました。



## 経営セミナー & 経営相談会

山崎 忠夫  
西河 豊  
中路 悦雄



中小企業診断協会京都支部と京都府印刷工業組合は、本年度より共同で経営セミナーと経営相談会の開催に取り組んでいます。

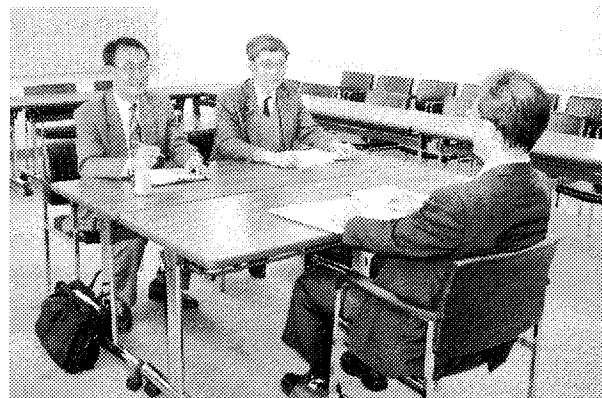
10月24日(火)18:00より、京都府印刷会館において、印刷業者19社23名が参加して「新会社法」のセミナーを開催しました。講師は支部常任理事の西河先生です。「新会社法」については各団体がセミナーを開催していますが、法律用語が多く、中小印刷業者からは「理解しにくい」という声が寄せられていました。

西河先生は、先生の豊かな経験を基に、診断事例などから、事業継承などについても、わかりやすい解説をしていただき、大変好評でした。

また、11月7日(火)に、同じく印刷会館において、「無料経営相談会」を実施しました。京都府印刷工業組合が共催する「経営相談会」は今回が初めてで、参加企業は2社2名と、まだ印刷組合員には知名度は広まっていません。来年度も、セミナーと、セミナーに関する個別相談会など企画を行い、企業内診断士の方にも、実務ポイントを提供できる機会を提供していこうと考えております。(中路)

京都府印刷業工業組合のセミナーと相談会を印刷工業会館にて実施しました。両日とも担当しましたが、いずれも熱気あふれる事業となり成功にて終了いたしました。

経営相談コーナーも非常にレベルの高い相談でした。残念なこととして、企業内診断士の経営相談第一希望がなかったことです。当事業は継続事業として来年以降も続きますので、スキルの向上に向けて振るってご参加下さい。(西河)



## 秋の叙勲受章のご報告とお礼

元中小企業診断協会京都支部長の品川先生が、この度「旭日双光章」を受章されました。我々中小企業診断士及び京都支部のステイタス向上と今後の励みにもなるものです。品川先生に、お祝いを申し上げますと共に、所感を願いました(編集委員)。

今秋の叙勲で私ははからずも中小企業振興功績で旭日双光章受章の光栄に浴しました。11月8日午前、経済産業省関係の勲章伝達式が東京プリンスホテルで行われ、130名の受賞者と共に経産大臣より勲章を拝受、その後、皇居「春秋の間」において天皇陛下に拝謁の栄を賜りましたことは感激でした。



不器用な私がこの光栄に浴することができたのは、ひとえに支えて下さった中小企業診断協会京都支部の皆様のお陰でありまして、支部で戴くものを代表させていただいたもので感謝です。紙面をお借りしてお世話になった皆様に厚くお礼を申し上げます。また、この受章が中小企業診断士と診断協会京都支部の存在感を高めるのにいささかでも寄与できれば嬉しいと思います。

私の今後は傘寿の高齢で微力ですが、皆様方への報恩のためにも、心を新たに「想うことは実現する」との信念で、経営合理化普及による地域産業の振興と併せて、恒久平和と共生の美しい世界実現のために世界連邦を建設すること、子孫のために地球環境を保全すること、生活習慣病を予防して真の長寿社会を作ること、公德心を養う教育の普及、などの志を持ち続け、これに向かって少しでも今できることに微力を尽くしてゆきたいと願っています。 品川弥太男

## 新診断士制度対応実務従事事業の進捗状況

平成18年度より診断士制度が変更になり、新しく実務従事ポイントを年間6ポイント取得することが義務づけられました。この制度変更に関しては、みなさん既にご存じのことと思います。

京都支部では、8月末に説明会を開催し、10月の理論更新研修会の席でも進捗をご案内しました。また、支部のホームページにも公開できる情報はアップしております。

最近の具体的な動きとしては、

- (1) 実務従事事業申込の受付を開始した
- (2) 京都府印刷業組合にて経営相談会を実施した(11月7日)

などです。

現在、診断事業の対象企業の準備を進めています。まだ、支部会員からの申込が予想よりも少なく、次の更新までに必要なポイントは、既に充足されている方も多いのではないかと感じています。

本格化するのは次年度からだと思いますが、支部としては出来る限り支部会員のみなさんがたに、多くの機会を提供できるように対応したいと思っています。(新制度対応プロジェクトリーダー 成岡秀夫)

## 「(財)京都産業21の事業概要と中小企業診断士及び診断協会に対する期待」

財団法人 京都産業21専務理事 中村 彰氏

京都では本年は紅葉が例年より少し遅れ気味ですが、朝夕の冷え込みとともに紅葉が本格化してきており、多くの見物客の目を楽しませてくれるものと期待しています。

今回の公的支援機関の紹介コーナーでは、京都府域の中小企業支援センターの役割も担っておられる財団法人京都産業21を御紹介します。

本稿は、御多忙の中でインタビューに応じて戴きました(財)京都産業21の中村専務理事に、最近の府内中小企業の動向や、私たち中小企業診断士及び診断協会への期待等をお伺いした要約です。 平成18年11月16日(水) 取材：辻 一幸

### 1. 財団法人京都産業21の使命

私ども京都産業21の使命は、顧客である京都府内中小企業の皆様の事業活動に関わる様々な場面で共に活動し、京都の産業の底力を発揮させることにあります。

### 2. 最近の府内中小企業の動向と京都産業21の対応方向

振り返ってみると、やっぱり今は、時代の大きな流れの中で一つの過渡期にあるな、と感じます。トータルとしては景気回復と言われるのだけれど、それは主に海外市場をターゲットにした大企業とその関連企業によるところが大きく、その中でも企業の選別が進んでいると思われる。これまで中小企業の多くは系列の中に入って事業を進めてこられた訳ですから、そこから外れる、あるいは急に新しく何か他の世界と言われても動きようがない面があるわけですね。

そうしますと、京都産業21として当面重点を置かなくてはならないのは、新しいビジネス、新しい製品をつくっていくチャンス、そして新しい顧客を切り拓いていく、こういう分野に多角的に取り組んでいくことだと思います。もちろん、チャンスを掴み取って事業を進めていくのは、中小企業の皆様のそれぞれの力量にかかっていますけれど、まず現実を動かす一歩を踏み出していくことが大切です。このため、京都産業21では、平成18年6月の組織改正により設置した連携推進部(企業連携グループ、産学公・ベンチャー支援グループ)と、その活動のベースとなる企業との接触の前面に立つ事業推進部(市場開拓グループ、設備支援グループ)との連携を強化し、これにお客様相談室や経営革新部を連動させ、新しいビジネス、新しいチャンス、新しい試みに中小企業がより広くかわることができるよう、全力を注いで行きたいと考えています。

また一方では、圧倒的多数の中小企業は、従業員規模が5人未満の事業所ですし、その全て



財団法人  
京都産業21専務理事  
中村 彰氏

が新分野に移行してというわけには行かない。現在の仕事をどうやって効率的に、コストダウンして行こうかということは、依然として大きな施策分野ですし、設備貸与事業や受発注取引のあっせんのように、府域では京都産業21だけが持っている機能ですので、これを十分に活かしていくことも大変重要なことだと思います。

### 3. 中小企業診断士及び診断協会に対する期待

最近、お客様相談室へ来られる方々からは、こういったものができたんだけど販路がないとか、あるいは、こういう事業をやりたいのだけれどもコツは何なのかなど、新しい事業を始めたいという相談が非常に多いのです。

我々、京都産業21でも起業家セミナーなどをやっていますが、中小企業診断士の皆様には、新規事業を目指す人達に対して、現状の経営診断に加えて、むしろビジネスモデルを実現させるという面からお手伝いをいただく部分が大きくなっているのではないかと思います。

中小企業診断士制度は歴史のある制度です。これを更に発展させて、中小企業診断士の皆様や、社団法人中小企業診断協会京都支部の皆様と私どもは、お互いに情報交換をし、新しい時代の中で、中小企業の支援をより効果的に進めたいと思いますので、よろしくお願いたします。

(財)京都産業21

URL <http://www.ki21.jp/>

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134

TEL : 075-315-9234

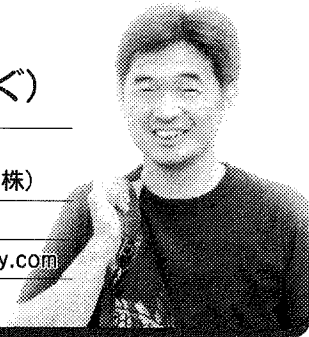
## はんなり企業内診断士

### 松井 宏次 (まつい ひろつく)

勤務先  
大日本スクリーン製造 (株)

奈良県出身

mailto:hiro-matsui@nifty.com



名古屋、金沢、東京と、転勤を経て、学生時代以来の京都へ戻り、2年余り前からは四国が仕事場に。久々に現場へ出て、四国と京都を行ったり来たりしながら主に印刷業向けの機器・システムの営業に従事しています。

従来から、コンピュータ化、情報化、自動化というソリューションの中で製品を提供してきましたが、最近では、事業展開のレベルでもお客様をよく理解し、お手伝いをする必要性が高くなりました。印刷業界全体で業態変革が合言葉とされている情勢から求められて来ることのようにです。

さまざまなパワーをお持ちの診断士の方々に出会い、学ばせていただけることを、いっそう活かせるようになったと言えます。

診断士になったお蔭で、多くの方に出会い、影響を受けることで、否応無く勉強を続けることになっている気がします。取得してからスキルを上げることができる中小企業診断士というのは、つい怠けがちな企業勤めの者にとって、なかなかお得な?!資格のようです。

外に向かってだけでなく、勤務先内の改革を牽引して活躍している企業内診断士も多いことと思います。私の知る企業内診断士のなかにも、自社改革をしっかりと進めている人たちがいます。もっと見習わなければならないと思っています。

やがて、また京都での時間がとれるようになりましたら、皆様から教えをいただきたく思っている次第です。どうぞよろしくお願いたします。

### 大井 義雄 (おおい よしお)

勤務先  
(株)高島屋京都店

京都出身



今春、4年間の名古屋、東京での単身生活を経て、地元の京都高島屋に転勤してきました。現在は総務担当として投資計画の策定、店舗施設管理、営業費管理や危機管理体制の整備、環境保護政策の推進、人材育成やサービス向上、涉外等、様々な課題に取り組んでいます。7階レストラン街リニューアル計画でも打合せを重ね、9月の「京回廊」オープン以来、多くのお客様をお迎えすることができ、充実感を味わいました。

百貨店は商品部門別に売場単位で構成されており、それぞれ中小企業的な規模と要素で、商品の多くは京都内外の中小の取引先様から仕入れています。従って、日々の業務においては資料分析だけに終わらず、診断士の視点を持って「現場」に入り込み、ヒヤリングや実態把握により課題抽出や改善提案することで、企業内診断士としての知識やスキルの発揮と経験を積むよう心掛けています。

また先日、京都学園大学において、「仕事研究講座」(京都支部主催)で、百貨店業界の紹介とキャリアパスについて話す機会があり、学生180名が熱心に聴いてくれました。資料作成の過程では、業界動向や業務内容をおさらいでき、学生の受講レポートからは流通業界や百貨店への認識の薄さも把握でき、得がたい経験になりました。これからも、持ち前のチャレンジ精神と好奇心を発揮して、販売士1級や消費生活アドバイザーの資格も活かしながら、京都の流通業や商業の活性化に役立っていきたく願っています。



### 経営戦略を考える



岸田 道彦

第1回は「経営者について」、第2回は「経営戦略について」、第3回は「経営管理について」という切り口でこのシリーズをまとめようと考えている。

私は常に「事業・商売」をすることと「経営」をすることを分けて考えている。経営をすることは事業を存続発展させることであり、それには戦略的取り組みが極めて重要になる。以前に関わった阪神間にある従業員120名程の商社は元来船舶用資材を扱うのが本業であった。商社は仕事柄種々の商材を扱うことが多いが、ある日持ち込まれたのは建設現場でコンクリートを固める装置であった。私はこれはだめだと思い、断念するようアドバイスしたが、聞き入れられなかった。そしてそれは案の定失敗した。これは理屈的にはアンゾフの「商品-市場」マトリクスで新商品を新市場へ導入することの難しさを示すもので、通常は中小企業としてはできれば避けるべき領域だが、状況によってはうまく行く。それはマネジメント力がしっかりしている場合である。京都の繊維系のメーカーがLED製品を日本屈指の大企業に納入してうまく行っているケースもある。これは見方を変えればM&Aの発想である。即ち、M&Aは極めて戦略的なものであり、その前提は徹底した状況分析力と判断力・決断力にある。経営戦略はいうまでもなく、全ての経営活動の発端となるものであり、この部分がしっかりしていないと経営は曖昧且つ惰性的なものになる。しかしながら、経営戦略はかなり独自の「発想・構想」に基づくもので、従前は一部の優れた経営者とその能力により経営を引っ張ってきた。しかし現今の情報化時代、厳しい競争の時代においては、最終的な決断は社長にあって、衆知を集め、科学的、合理的に策定することが強く求められる。

経営戦略策定を助けるツールとしてはいろいろ

なものがあるが、よく知られているのは「SWOT」分析である。(図1参照)これについては、その応用的な使い方として、私はOとTへの対応は経営者の個性にゆだねた方がよいのではないかと考えている。こうしたものを基に、私がよく使うのは、「戦略テーマ表」(図2参照)である。経営幹部を巻き込んで、社長の意思・方針を浸透させながら、幹部教育を兼ねて経営戦略ないし中期経営計画を立てる時に使う。この横軸は戦略目標を逆算的に年度計画に結びつけるものであり、上記SWOT分析結果を実現するための契機となるものである。縦軸はBSC(バランススコアカード)の4つの視点を利用している。そしてその基軸にあるのは社長の経営理念・方針である。但し、こうしたことがよく理解・納得され現実に生きて来るには社長その人の理解力と熱意が必要であり、その上に立って社長と「アドバイザー(経営コンサル)」がコンビを組んで事に当たらねばうまく行かないことはいふ迄もない。

S 強み	O 機会
W 弱み	T 脅威

図1. 【SWOT分析】

SとWは自社に関することなので、強み・弱みはかなりはっきりしているが、OとTは外部環境なのでこれをどう捉えるかは経営者の考え方、姿勢などにより異なる。  
環境条件を客観的に充分整理・分析した上で、どのように対処すべきか戦略的に検討・決定するのがよい。

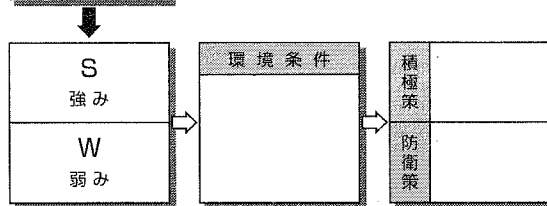


図2. 戦略テーマ表

	1年目	2年目	3年目
業績関係	●売上高目標 ●利益目標 ●自己資本比率目標	(逆算的に設定する)	3年後に目指すもの
顧客関係	●稼動顧客件数 ●新規開拓件数 ●顧客満足度		
業務関係	●不良率 ●コスト低減率 ●納期遅延率		
人材関係	●職能評価基準 ●教育訓練実施 ●給与システム		

## 平成18年度調査研究事業中間報告

中小企業診断協会京都支部として平成18年度の調査研究事業は、現在8名のメンバーで進めています。

今年度は「医療機関における情報管理の実態」という、壮大なテーマを掲げました。

最近、何かと医療機関は話題になることが多いのですが、特に「情報管理」というテーマに絞って、

- (1) 情報管理の体制
- (2) ホームページの利用活用
- (3) 個人情報保護の体制
- (4) 電子カルテの導入状況

などについて、京都府下での約200箇所の医療施設を対象に調査を計画しました。

実際には、京都府医師会、京都私立病院協会などの了承とご協力をいただき、地域と規模により約80の医療機関を選定。それをメンバー8名を4つのグループに分け、この調査事業のために作成した調査票に基づき、訪問または調査票を返送していただく方式で調査を進めています。

当初、医療機関への調査はかなり敷居が高い、との認識で出発しましたが、メンバー各位の努力で予想以上の回収率になっています。年内から1月にかけて調査結果をまとめ、冊子を作成する予定です。ご期待下さい。

(文責:調査研究事業グループリーダー 成岡秀夫)

## 近畿ブロックにおける特別支部研修 「農業経営診断セミナー」報告

平成18年9月9日(土)、10時から17時15分まで京都産業会館の2階及び7階会議室において、完成した「農業経営診断マニュアル」を基にした「農業経営診断セミナー」が開催されました。

中小企業診断協会理事・農業経営支援センター会長の橋本文夫氏と岩手県支部理事の菊池宏氏を迎えて、近畿各支部から役員及び会員24名が参加しました。

農業経営分野は、中小企業診断士の新たな事業領域として注目されていますが、それに相応しい熱心な質疑応答で盛り上げられました。

## 農業経営支援研究会活動から

農業経営支援研究会では、

- (1) 個々の農業経営の支援
- (2) 新しいビジネスモデルの提言
- (3) 村おこしなど

の三つのテーマに絞って、分科研究会を立ち上げて活動しています。分科研究会と全体の研究会を交互に開催しています。但し、このうち村おこし部会は実質的には未だ本格活動に入っていない状況ですので、目下は前2者に集中した研究会活動を展開しています。

## 経営革新支援研究会 活動報告

(上田 清)

開催日	講演テーマ	講師名 講師所属・職位	講師区分 会場	講演内容
2006.4.12	財団法人京都産業21の事業概要	辻 一幸氏 京都支部理事	会員 産業会館2F ミーティングルーム	産学公の連携と顧客の立場に立ったワンストップ体制の下に実施している事業概要や商業活性化支援についての説明。
2006.5.10	会社を見分けるポイント ～与信管理の実際と現場で 会社を見分ける技術～	近藤史郎氏 (株)帝国データバンク 京都支店 支店長	外部 産業会館2F ミーティングルーム	会社がどうい状態にあるのかを見分けるポイントについて説明。決算書からの分析方法以外に、経営者からのヒアリングや長年の現場で鍛えられたノウハウについてのお話。
2006.6.14	H18年度税制改正の ポイントと中小企業診断士 についての視点!	北村建児氏 京都支部会員	会員 産業会館2F レンタルルーム	特殊支配同族会社の役員給与の給と所得控除相当分の損金不算入や役員給与の多様な支給形態への対応、同族会社の留保金課税制度等の税制改正ポイントの説明。
2006.7.12	京都信用保証協会の 業務概要と企業再生への 取組みについて	伊達 勉氏 京都信用保証協会 保証部次長	外部 産業会館2F ミーティングルーム	信用補完制度並びに信用保証協会の上手な利用の仕方やそれに合わせて平成17年4月発足の京都府、京都市協調事業再生支援融資の取組み状況についての紹介。
2006.9.13	行政機関の実態と診断士の 新たな活躍の場の可能性 ～地方自治体の財務分析の 基礎知識～	山本知美氏 京都支部会員	会員 産業会館2F ミーティングルーム	地方自治体を取り巻く環境と地方行政改革を推進する際の診断士の活躍の場の可能性について。また、地方自治体の財務分析の基礎知識についての説明。
2006.11.8	①「農業生産法人」における 経営診断の取組みについて。 ②集落営農の組織化支援に ついて。	①松野修典氏 京都支部理事 ②山本知美氏 京都支部会員	会員 産業会館2F ミーティングルーム	第一部 農業生産法人経営診断の取組みについての説明(松野修典氏)と第二部 集落営農の組織化(山本知美氏)についての説明。

## 今年度の新たな活動から

### ① 京都商工会議所経営指導員研修

今年の春から毎月開催してきました京都商工会議所の経営指導員強化研修は、8月25日の第12回目を持って完了しました。本中小企業診断士受験科目講座には多くの会員診断士が講師として参加され、府内の経営指導員の方々とは知り合うことができた有意義な研修会でした。

### ② 京都商工会議所経営指導員IT化研修

経営指導員研修の続編的に、IT化支援研修が10～11月にかけて2回にわたり開催されました。これには、ITコーディネータでもある支部会員2名が講師として参加しました。

### ③ 京都市中央卸売市場内企業経営診断

中央卸売市場に入居している企業約20社程度の経営診断を今年度中に実施する予定で調整しています。

## 経営品質研究会からのお知らせ

研究会活動の成果物である「経営品質マニュアル」が完成しています。ご希望の方には提供しますので、お申し出ください。(木津要三)

## 個人情報保護研究会

現在は、完成したマニュアルが実際の企業の現場で使用可能かどうかの実証実験の段階です。

今後はプライバシーマークの取得のコンサルティングが出来るようなマニュアルの作成を追求する予定です。(木津要三)

### 編集後記

編集担当の杉村麻記子です。企業内診断士の代表として、「はんなり企業内診断士」の編集を支援しています。

原稿の依頼から作成、編集にあたってはメールをベースに進めています。皆さんご多忙なのでなかなかお目にかかって打ち合わせをすることができません。バーチャルなワークプレイスを一番活用しているのは企業内診断士かも？

## 掲 示 板

### ○支部・組合研修会

2006年12月1日 18:00～20:00 セミナー

講 師：福島 繁氏

(中小企業診断協会兵庫支部長)

演 題：

プロコンの専門化と総合化への取組みについて  
～食品業界、病院経営の事例を主体として～

会 場：京都産業会館2Fセミナールーム

### ○京都支部新年会

2007年1月19日(金) 15:00～17:00

新春講演会

講 師：西村 理氏(同志社大学経済学部教授)

演 題：中国企業のコーポレートガバナンス

会 場：京都産業会館2Fセミナールーム

17:00～ 新年祝賀会

会 場：からすま京都ホテル

### ○新入会員交流会 2007年2月上旬

### ○品川先生叙勲記念祝賀会

2007年3月2日(金)

会 場：からすま京都ホテル

### 会員の異動(平成18年7月～11月)

平成18年7月	新規入会	山下泰功
平成18年8月	転出(東京中央支会へ転出)	福田真一
平成18年10月	転出(兵庫県支部へ転出)	高橋 一
同	逝去	高村正雄
平成18年11月	京都支部 会員数	127名

### 【お悔やみ】

平成18年10月、会員の高村正雄氏が永眠されました。生前の高村氏の功績を忍び、ご冥福をお祈りいたします。

### 診 断 京 都

No.83

2006年11月末発行

社団法人中小企業診断協会京都支部

〒600-8009 京都市下京区四条通室町東

京都産業会館内

TEL (075) 213-7980

FAX (075) 213-7981

メール smecakyo@mail.joho-kyoto.or.jp

ホームページ <http://www.joho-kyoto.or.jp/~rmckyoto>

印刷所 (株)大美堂印刷社 TEL (075) 314-3111

FAX (075) 314-3122